

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人こらぼねっと京都 こらぼねっと京都自立支援センター(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年12月11日		~ 2026年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 14
○従業員評価実施期間	2025年12月11日		~ 2025年12月26日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	クラス制なので、同じような課題に向かえる子どもでグループが構成されている。同年齢の人と関わられるようにしている。	小集団で活動する中で、課題に差が生じた時は個別に対応している。	保護者から情報を得られるよう心がけ、タイムリーに共有できるようにする。
2	指示ではなく提案をして、自己選択、自己決定する機会を積極的に取り入れている。	困っている時や分からない時に、自分から言葉で伝えられるよう練習している。その場に合った言い方や言葉の選び方など、見本を見せたり、一緒に考え、実践してもらっている。	送迎時に子どもの変化や成長などを保護者に伝えると共に、家や学校での困りごとがあれば、随時面談を受け付けている。
3	繰り返し様々な活動(制作、料理、学習、音楽活動)に取り組みながら、ひとりで考え行動できる力を育てている。達成感や自己肯定感を高め、意欲や期待を持って活動する力を育てている。	子ども一人一人を受容し、その子なりの参加の仕方を大切にしている。	子ども一人一人をよく観察し、意思を尊重しつつ、本人の成長を促す関わりを模索する。
4	小集団療育以外に、期間限定、回数限定ではあるが、小集団のコグトレや個別の作業療法を実施している。	療育担当者と訓練担当者で子どもの情報を共有し、訓練終了後は訓練担当者からの報告会を実施している。個別訓練で成長したところや成長途中な部分を療育でも引き続きサポートし、より一層成長できるように取り組んでいる。	必要に応じて、個別の作業療法を増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多くの保護者からの要望がないので、保護者全体が集う場所や機会、保護者会は実施していない。	保護者支援は必要に応じ、個別に行っている	保護者からの要望があれば、保護者が悩みを相談し合える機会などを作れるよう検討する。
2	家族に対してペアレント・トレーニング(家族支援プログラム)や家族も参加できる研修会や情報共有の機会がほぼない。	誰でも参加できる音楽活動の定例会を月1回行っているが、周知されていない。家族支援は個別に行っているが、集団でのペアレント・トレーニングは実施していない。	誰でもが参加できる音楽活動の定例会について、周知していく。家族支援に関しては、今後も個別に対応していく。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会はない。	週1回の療育の中では、地域との交流の機会を持つことは難しい。	今後も予定はしていない。